

父の戦没地を訪ね感動の涙の日々

竹原市遺族連合会 谷村 和代

このたび、パラオ諸島地域慰霊友好親善訪問団に参加させていただき、ありがとうございました。

父は昭和十九年七月二十五日南洋群島方面にて戦死したと聞いていました。南洋群島方面とはどういう島があるところだろう。何もわからないまま申し込みをしました。

一人で出かけたことのない私は不安いっぱいの出発でしたが、東京駅からタクシーに乗り、スムーズに九段会館に到着することができました。結団式の後、靖国神社に参拝し、いよいよ行くんだという思いを新たにしました。同じ境遇の者同士、靖国神社を後にする時には親しく話をしていました。

翌日はグアムを経由してコロール島へ、一日がかりの移動でした。パラオ諸島、コロール島、ペリリュー島、アンガウル島には、防空壕、トーチカ、戦車等が当時そのままの姿で残っていて、胸が痛みました。

在パラオ共和国日本国大使館を表敬訪問し、身障者支援団体に車椅子を寄贈しました。このことは現地の新聞二社が記事にしてくれました。小学校に学用品等を贈呈。海軍基地ではパラオの木、『ブルメリア』を全員で植樹し、各地で慰霊巡拝、西太平洋戦没者の碑の前で州知事出席のもと、戦没者追悼式を行い、感動、涙の毎日でした。

私の父の慰霊祭は、コロール島のコロール湾に面した場所で行われました。父は敷設艇「測天」に乗り、コロール島からウルシー島へ向かって出発した直後、アメリカの空爆を受け、コロール湾内で戦没したと知りました。コロール湾の海水は透明に澄み、はるかに続く碧い海、父はこんなきれいな海に洗んだんだと思うと、涙が止まらなくなりました。みんな海に花を投げ入れ、お米とお酒をまきました。お米がキラキラと光りながら海の底へと消えてゆきました。

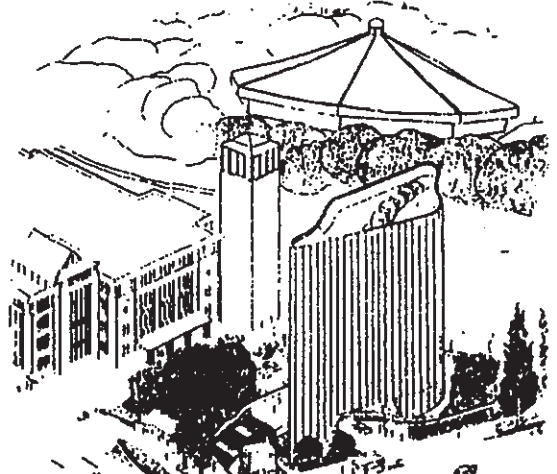
今まで私は、父はいなくてあたり前の生活を送ってきましたし、父が戦死したんだということもわかっているような、わかっているような気がして今日まで来たような気がします。父のことはあまり考えたこともありませんでした。この訪問団に参加したことで改めて父のことを強く、深く思うようになりました。今にして思えば、遺骨がなかったので父の帰還を信じて死ぬまで待っていた母、母の心の中にはいつも父の姿があったと思います。これからは、父の無念さ、母の悲しみ、苦しみをかみしめながら、父母への感謝の気持ちを忘れないように生きてゆきたいと思っています。

そして戦争のない平和な世界になるようにと願っています。私にとって二度とない有意義な日々を送ることができました。心に残る立派な慰霊祭を行っていただき、ありがとうございました。

くつろぎの、時 九段会館のご宿泊

遺族割引料金 (税金・サービス料込)

| | |
|-------------------|----------|
| ☆洋室 シングル | 7,140円～ |
| ツイン | 12,600円～ |
| ☆和室 (1名様料金) | |
| 8帖に1名 | 11,020円 |
| 8帖に4名 | 5,880円 |
| ☆団体15名様より (1名様料金) | |
| 朝食付 | 6,825円 |
| 夕・朝食付 | 9,975円 |



九段会館

ご予約・お問い合わせは
宿泊予約係まで

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-5
http://www.kudankaikan.or.jp ☎ 03 (3261) 5521

★九段会館では、昨年9月から「遺族会員証」にかえ「メンバーズカード」を発行しています。会館への宿泊の際に御使用ください。申し込み先 (財)広島県遺族会 TEL 082-247-1216